

### 【3】鹿町地区福祉推進協議会の紹介

#### どのような団体？

鹿町地区福祉推進協議会（略称：福推協）は、地域住民の身近な困りごとをはじめ様々な情報を把握し、その解決に向けた活動などに地域の多くの団体や住民が連携して取り組み、安心して暮らすことができる地域づくりを進めるという大きな役割を担う組織です。

鹿町地区福推協は、平成23年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒に様々な活動に取り組んでいます。

#### どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、生活学校、施設関係、行政など、幅広いメンバーで構成されています。

#### 主な活動は？

福推協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

##### 定例会の開催

鹿町地区の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いを、一人ひとりがアンテナ役となり、年3回程度開催しています。

##### 広報誌の発行

地域住民の福祉意識の向上と福祉活動への参加促進、福推協活動のPRなどのために、「福推協だより」を年2回程度発行しています。

##### 交通安全帽子の贈呈

鹿町・歌浦小学校の新入学児童全員に、毎日の登下校時の安全を願い、毎年黄色い帽子を贈呈しています。

##### ベンチの寄贈

毎年、依頼があった地区へベンチを寄贈しています。住民の皆さんに安心して利用していただきたいと思います。

##### 街路灯の設置

地域の皆さま方が安全で安心して暗い道も通行できるよう、また、防犯の意味でも効果がある街路灯を設置しています。

##### 老人クラブへの助成

高齢者の活動支援の一環として、老人クラブが開催している旧北松南部5カ町交流グラウンドゴルフ大会を支援し、交流と親睦を深めました。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことで、さらに充実した活動になればと願います。地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

## 【4】鹿町地区「地域福祉 “お茶の間トーク”」

### “お茶の間トーク”って何？

もっと住みやすい鹿町にするために、地域の人々がいろいろなことを話し合ったのが、“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、一緒にまちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

## お茶の間トーク

テーマ：「地域のことを見つめなおそう！」

～みんなに出来ることを探そう！～

日 程：平成24年12月9日（日）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは鹿町地区にちなんだクイズをグループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う鹿町地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加された皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見したりと、いい機会になったようです。

※下のようなことが多く出されました。



### 【よかところ】

○長串山山頂からの景色

○犯罪・災害が少ないまち

○魚がおいしい

### 【気になるところ】

○空き家、空き店舗が多い

○高齢者の買い物が不便

○子どもたちの登下校が心配